

イスにまつわる個人的感情



正岡 利朗

(高松大学経営学部 教授)

Toshiro
Masaoka

オミクロン株の次の変異型による第7波が一向に出現せず、このままコロナが収束していけばよいのと思っている最近ですが、世間ではコロナ禍を契機とした「ニューノーマル」への対応が、順調に先行している分野となかなか変わらない分野とがあるようです。今回の話題は「イス」です。

この度のコロナ禍で自宅での「リモートワーク」がずいぶんと、多方面に拡張されていったわけですが、多くの方はそのための装備を整えるところから始めていったことでしょう。すでに自宅でもPCを日常的に使っていた方も多いでしょうが、課題は長時間の作業を支える家具類や自宅内スペースの方にあったことと思われます。家族との関係や新たな購入などで、ずいぶん神経を使った方もいたでしょうね。

その長時間作業のカラダを預ける重要な家具としてイスがあるわけですが、選択肢は多数、そして価格は実にピンキリであり、価格による快適度の差がどの程度であるのかもよくわかりません。ネット通販で購入した場合は、商品についてのレビューなどを参考に予算内から選択し、届いたモノに座っての長時間作業の後、自分の選択がアタリだったかハズレだったかによる喜びと嘆きが、あちこちで見られたものと推察します。当方もこの期間に、ヘッドレスト、ランバーサポート、フットレスト付のいわゆる「ゲーミングチェア」に分類される1万円台のイスをネット通販で購入したのですが、以前から自宅での長時間作業に使用しているイスに代わる役割を果たし得たかと言うと、残念ながらノーでした。

その比較対象になったのが、(株)内田洋行のNEX-A65というオフィスチェアです。2004年に購入して以後、ずっと当方の自宅作業を支えており、とくに不満はなかったのですが、最近流行のゲーミングチェアの快適度を測るべく、購入に至った次第です。そして、試用の結果、自宅での作業では疲れたら横になればよいのでヘッドレストやフットレストは不要、ランバーサポートは申し訳程度で当方のカラダには合わないことがわかりました。そして何より不満であったのが堅牢性でした。作りが華奢で、安心してカラダを預けることができず、その分余計な気を遣い、それがストレスに繋がるのです。

さらに、座面を最低位置に設定してもまだ少し高いのであまり心地がよいのです。当方の身長は日本人男性の平均身長よりは少し低い168cmなのですが、NEX-A65では座面位置を床から40cmに設定しています。しかし、改めて最近販売されている各イスのスペックに目を通すと、40cmまで低く設定できるイスはあまり見かけず、多くの男性より身長の低い女性にとっては心地よさが得られにくいのでは、と思ってしまう(余計なお世話?)。

これらの理由により、現在でもNEX-A65をメインに使い続け、ゲーミングチェアは当宅の趣味の部屋用となりました。ただし、NEX-A65

にもカスタマイズは施しており、座面には厚さ4cmの低反発クッションを敷き、ランバーサポートとしてダイソー製バックレストを装着しています。前者は、長時間座っている際のお尻の痛み軽減のための、後者は、背中をS字上に保つための導入です。また、快適なイス角度は、疲労の蓄積により、日によって、継続利用時間によって異なるため、適宜リクライニング機能も活用して体勢を変えて、快適度を維持する工夫をしています(もちろん、適宜、イスから立ち上がった方が健康には良いですね)。ちなみに今流行のゲルクッションも試してみましたが、当方の場合、これに座るとお尻の位置が落ち着きませんでした。

まあ、コロナが収束したからといってリモートワークがすぐに廃れるわけでもなく、イス選びの必要に迫られる方はこれからもいるでしょうから、当方の個人的感想も多少は参考になるでしょう。結局は自分にとっての理想の作業用イスなどはなきに等しいので、「良さそうなイスを吟味して購入し、その上で快適さを追求したカスタマイズの工夫をするべし」ということなのでしょう。これは自宅のみならず、職場の自分専用のイスでも同様ですが、一方、会議用などの共用のイスについては難しいですね。

そして、公共交通では選択及びカスタマイズの余地がありません。にもかかわらず、最近ではコストダウンのためか、2時間以上座り続けてしんどくならないような座席はそれほどありません。JR四国の特急を例に取れば、以前の2000系、8000系の普通席は比較的良好な座り心地であったのですが、最近の2700系、8600系のもはクッションが薄いようではしんどいですね(あくまで個人的感想です)。快適に座って過ごせることは、公共交通を使った旅行の質を向上させる重要な要素になると思うのですが、ライバルである自家用車の多くは座席についてよく考えられていますし、さらに自分用に適切にカスタマイズできますし...

また、公共施設などでも事情は同様です。整備時によほど配慮が払われた座席でないと、せつかくの式典参加やスポーツの試合観戦などを、苦痛を感じながら行うこととなります。当方が経験した範囲では、レクザムホールやPikaraスタジアムなど、箱はとても立派であるのに、残念ながら座席はお寒い状況ですね(あくまで個人的感想です)。

当方は、2014年の頃から脊柱管狭窄症の症状が出始め、長く立っていると下半身が痺れていきます。立ち続けることが血行を悪化させ、症状を引き起こすため、なるべく早めに座ることを心掛けているのですが、その延長でイスの座り心地にもとても敏感なのです。そして、高齢化の進展に伴い、背中や腰に不具合を抱える方が増加している現況では、公共交通や公共施設においては、ニューノーマルへの対応も然る事ながら、肝心の座席の快適性向上に心血を注ぐことの方がより肝要なのではないでしょうか。

中央会だより 1

令和4年度通常総会を開催

本会は6月20日、高松国際ホテル(高松市)において会員組合等の代表者ら約80名並びに来賓多数のご出席のもと、令和4年度通常総会を開催しました。

提出議案は下記のとおりです。

- 第1号議案 令和3年度事業報告書並びに決算書承認の件（原案通り承認）
- 第2号議案 令和4年度事業計画（案）並びに収支予算書（案）承認の件（原案通り承認）
- 第3号議案 令和4年度会費承認の件（原案通り承認）
- 第4号議案 令和4年度借入金残高最高限度額承認の件（原案通り承認）
- 第5号議案 任期満了に伴う役員改選の件（次ページのとおり選任）

議案審議終了後、国東会長より「我々地方の中小企業においては、コスト高に伴う収益悪化に関し、一部の業種では価格転嫁に向けた交渉等が進んでいるものの、多くの事業者は対応に苦慮しており、加えて少子高齢化の進展による人手不足、後継者問題、生産性向上などの重要課題に向けた対応が残されています。このような中、共同の力で経営課題に取り組む、組合をはじめとする連携組織の役割はますます重要度を増しています。

このため、本会も、業界組合等への支援を通じて、一刻も早く、このような困難な状況に対処し、事業と雇用を継続あるいは維持していくための各種事業等を実施してまいりたいと考えています」などと挨拶しました。

続いて来賓を代表して、香川県知事・浜田恵造様、香川県議会議長・高城宗幸様、四国経済産業局産業部長・岩崎政典様より祝辞を頂きました。会場を移動後、感染対策を行って開催した懇親会では、商工組合中央金庫高松支店長・村岡秀寿様の乾杯の発声により、和やかな雰囲気のもと会員等の交流が図られ、盛会のうちに終了しました。



▲挨拶をする国東会長



▲総会会場



▲浜田県知事



▲高城香川県議会議長



▲岩崎四国経済産業局産業部長



▲懇親会の様子

香川県中小企業団体中央会役員名簿

令和4年6月20日現在

役職名	氏名	所属組合名	
会長	国東 照正	香川県信用組合	
副会長	松永 雪夫	香川県生コンクリート工業組合	
//	大峯 茂樹	本場さぬきうどん協同組合	
//	古川 康造	香川県商店街振興組合連合会	
//	三矢 昌洋	香川県ホテル旅館生活衛生同業組合	新任
専務理事	岡 興司	専 従	新任
常任理事	太田 英章	香川県臨海企業団地協同組合	
//	楠井 芳則	香川県縫製品工業協同組合	
//	中川 悟	香川県管工事業協同組合連合会	
//	佐々木 正富	建設協同組合高松総合センター	
//	増田 浩	瀬戸内食品加工協同組合	
//	斉藤 孝	香川県建築設計協同組合	
//	川原 陞	香川県美容業生活衛生同業組合	
//	田中 邦彦	香川県食糧事業協同組合	
//	津村 潤治	協同組合日専連高松	
//	岡 隆夫	香川県中古自動車販売商工組合	新任
理事	楠木 寿嗣	一般社団法人香川県トラック協会	
//	神原 満	川重坂出事業協同組合	
//	辻村 啓一	香川県砕石事業協同組合	
//	向井 幸司	香川県自動車整備商工組合	
//	佐々木 敏晴	香川県漆器工業協同組合	
//	真鍋 道雄	香川県農機具商工業協同組合	
//	篠原 公七	香川県火災共済協同組合	
//	国東 宣之	香川県石油商業組合	
//	貞野 正昭	赤帽香川県軽自動車運送協同組合	
//	新名 淳一	香川県電気工事業工業組合	
//	吉原 良一	香川県製粉製麺協同組合	
//	二川 隆一	香川県食肉事業協同組合連合会	
//	小竹 和夫	香川県建築事業協同組合	
//	岩崎 康誠	香川県タクシー協同組合	
//	橋本 庄市	日本手袋工業組合	
//	白井 正人	香川県家具商工業協同組合	
//	末包 賀裕	香川県造園事業協同組合	
//	宮 寄佳昭	香川県印刷工業組合	
//	藤井 武志	香川県室内装飾事業協同組合	
//	中谷 明生	庵治石開発協同組合	
//	片岡 伸介	香川県屋外広告美術協同組合	
//	伊藤 雄二	小豆島手延素麺協同組合	
//	城上 哲文	小豆島調理食品工業協同組合	
//	加内 雅彦	公益社団法人香川県宅地建物取引業協会	新任
//	三好 浩之	香川エルピーガススクリーン協同組合	新任
//	木村 典雄	中央会青年部会長	新任
監事	和泉 一郎	仕出し協同組合スプリング	
//	上村 芳久	四国鍍金工業組合	
//	間 島 寛	高松エルピーガス販売協同組合	

会長1名、副会長4名、専務理事1名、常任理事10名、理事26名、監事3名（順不同・敬称略）

中央会だより 2

働き方改革の推進等に関する協力要請

6月3日、本会に対して、香川県知事、香川労働局長、香川県教育委員会教育長、四国経済産業局長の連名で、雇用機会の確保・働き方改革の推進等に関する協力要請が行われました。

要請は、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県経営者協会の商工4団体に対し、地域経済の維持・回復及び持続的発展に向けた雇用対策を推進するためのもので、主な内容は以下のとおりです。

会員組合等におかれましては、傘下事業所に次の事項をご周知いただきますようご協力をお願いいたします。

(1) 雇用機会の確保について

- 職業能力形成の機会に恵まれない若年無業者や、本意ながら不安定な職業状態にある方に対しても、正社員としての雇用機会の確保を図ること
- 将来を見据えた新規学卒者の採用枠を確保すること

(2) 働き方改革の推進について

- 働き方改革関連法等の理解促進と着実な実施並びに一層の周知、啓発等を行うこと

(3) 多様な人材の雇用と活用について

- 女性や高齢者、障害者等の活躍を促進すること
- 多様な人材の積極的な雇用と、活用のための環境整備について配慮すること
- 技能実習生や特定技能外国人等の制度の適正な活用に努めること

(4) 若年者の職場への定着について

- 県内企業の若手社員のキャリアアップのための研修など人材育成の機会を設けること
- 若手社員の職場への定着に向けた支援を行うこと



▲要請書を受け取る松永副会長（左）

中央会だより 3

県独自の中小企業施策を知事に要望

6月6日、香川県知事に対して、本会を始め、香川県商工会議所連合会、香川県商工会連合会、香川県商店街振興組合連合会の4団体は、新型コロナウイルス感染症の影響やウクライナ危機の長期化などによる経営環境の悪化などを受け、中小企業・小規模事業者への経営支援を求める緊急要望書を提出しました。

中でも、宿泊業や運輸旅客業をはじめとする観光産業は、コロナ禍による感染拡大防止のための外出抑制、国際的往来制限等の影響のため、人流の減少やインバウンドの消失など経営環境の激変が生じていることから、特に傷んでいる宿泊・公共交通事業者を対象に、観光需要が感染拡大前の水準にまで回復する間、需要・消費喚起策を追加で早急に実施するとともに、各種イベントの開催に向けた工夫や代替イベントを検討すること、そして高松空港国際線の早期再開に向けた働きかけについてなどの要望を行いました。

要望内容は以下のとおりです。

1. 中小企業・小規模事業者の自己変革に向けた挑戦支援
2. 需要・消費喚起策
 - (1) 消費喚起策
 - (2) 宿泊施設の利用促進策
 - (3) 公共交通機関の利用促進策
 - (4) イベント等の促進策
 - (5) 高松空港国際線の早期再開
3. 資源・原材料価格の高騰や円安の進行に対する支援



▲要望を行った松永・古川副会長他

FROM青年部 1

第45回通常総会を開催 ～新会長に木村氏（高松市上下水道工事業協同組合）が就任～

6月15日、第45回通常総会を会員約40名の出席、また、香川県知事他3年ぶりにご来賓の方々にご臨席いただき、感染対策を行いながら開催しました。

本年度は、役員改選に伴う正副会長の交代があり、新会長に木村典雄氏（高松市上下水道工事業協同組合）が就任されました。

総会後の懇親会では、全国中小企業青年中央会・恵南会長からのご挨拶や2期4年会長を務められた十河孝浩氏への感謝状の贈呈式、新役員の紹介など終始和やかな雰囲気のもと、会員相互の懇親を深めることができました。

香川県中小企業団体中央会青年部 正副会長名簿 (令和4年6月15日現在)

会長	木村 典雄	(高松市上下水道工事業協同組合)
副会長	谷本 匡朗	(香川県鋼構造協同組合)
//	植原 誠悟	(香川県造園事業協同組合)
//	太田 武志	(庵治石開発協同組合)
//	大野 勝彦	(香川県テントシート工業組合)
//	竹上 彰浩	(香川県電気工事業工業組合)
//	高橋 知己	(香川県室内装飾事業協同組合)
	会長1名、副会長6名(順不同・敬称略)	



▲十河前会長より総会開会挨拶



▲木村新会長より就任挨拶



▲木村新会長(左)と十河前会長(右)

FROM青年部 2

全国中小企業青年中央会通常総会・創立30周年記念式典(於 東京都)へ出席

6月3日、明治記念館(東京都)において「全国中小企業青年中央会 通常総会・創立30周年記念式典」が開催され、十河前会長、木村会長が出席しました。

通常総会では役員改選があり、木村会長が四国ブロック副会長として全国中小企業青年中央会の理事に就任されました。

引き続き開催された記念式典では優良組合等青年部表彰が行われ、全国中小企業団体中央会会長表彰として香川県生コンクリート工業組合が、全国中小企業青年中央会会長表彰として香川県鋼構造協同組合がそれぞれ受表彰されました。

その後、牧島かれんデジタル大臣による記念講演や祝賀懇親会も執り行われ、感染対策を行いながら全国規模の交流を深めることができました。



▲通常総会風景



▲全国中小企業団体中央会会長表彰受表彰組合



▲全国中小企業青年中央会会長表彰受表彰組合

本会青年部は、業種や団体の枠を超えた交流・連携に取り組み、中小企業並びに組合等の振興に寄与することを目的として各種事業活動を行っています。組合青年部の組織化や他組合青年部との交流会開催希望等ありましたらご相談ください。

香川県中小企業団体中央会 事業振興部 / TEL.087-851-8311

BOOK RANKING 県内ベストセラー



順位	書名	著者	出版社/定価
1	80歳の壁	和田秀樹	幻冬舎/990円
2	70歳が老化の分かれ道	和田秀樹	詩想社/1,100円
3	夢をかなえるゾウO ガネーシャと夢を食べるバク	水野敬也	文響社/1,848円
4	マスカレード・ゲーム	東野圭吾	集英社/1,815円
5	子宝船 きたきた捕物帖(二)	宮部みゆき	PHP 研究所/1,760円

香川県書店商業組合調べ

県内における5月の前年同月比DI値は 売上高DI値と収益DI値は改善、景況DI値は悪化

2022年5月

Industry Information

製造業	食料品	<ul style="list-style-type: none"> ●昨年度に比べれば、観光地、飲食店に人が戻り始め業務用等の売上は上昇しているが、コロナ禍以前には戻っていない。(製粉製麺) ●出荷量ベースでは、前月対比 98.9%、前年同月対比 106.6% (4月分)である。各社とも値上げ(対象商品、告知タイミング等)について苦慮している。また、原材料高騰や主力商品販売戦略についても対応を練っている。(調理食品) ●日本冷凍食品協会による3月の冷凍食品生産数量は昨対105.3%となり、令和4年の合計数量は昨対100.4%と前年を上回った。3月以降は少しずつ荷動きも増えてきており、4月はGWの観光需要増加の影響によって徐々に好調に推移したが、5月はその反動もあり落ち着いた荷動きに転じた。6月以降は原材料価格の上昇に加えてエネルギー費の値上げが続き、荷動きと共に製品価格への転嫁が重要になってくると思われる。(冷凍食品) ●組合員の4月・5月の売上高は、前年同月比で減少傾向にある。6月・7月のお中元商戦及び新型コロナ禍が終息した後の消費者動向に注目したい。醤油原材料の大豆、小麦、食塩などの前例のない価格高騰が、売上高や販売価格に及ぼす影響が現時点では予測できない状況にある。(醤油) ●製粉製麺組合と同様に輸入小麦価格の上昇、他エネルギー価格等の値上げに組合員は頭をかかえている。その為、組合員数の減少傾向がみられる。組合として、少しでも組合員の店舗にお客様が増えるよう努力したいと思っている。(生麺)
	繊維工業	<ul style="list-style-type: none"> ●中国上海のロックダウンは一部解除されてきたが、積み出し港湾では通関待ちの商品が多く、未だ状況は改善しておらず、UV手袋の納品に影響を与えている。ゴルフ・バッティング手袋等のスポーツ用手袋の主な生産国インドネシアにおいては、ロックダウンも解消され通年通りの展開に戻ってきた模様である。国内商況は全体的に低調で先行きが不透明である。(手袋)
	木材・木製品	<ul style="list-style-type: none"> ●巣ごもり需要は落ち着き、やや受注減の傾向である。今後は、新しいスタイルのオフィスユースに対する提案力、デザイン、機能など、業界的に取り組む傾向である。原材料の高騰はさらにもう一段上がる予定で(7~10月あたり)価格転嫁も非常に難しい。(家具) ●住宅部材の値上がりと工事の遅れ、外材の急な価格上昇が続いており、コロナ禍の不安定感が依然と続く中、これから梅雨に入るので需要は伸びないと思われる。(製材) ●コロナ感染症、ロシアのウクライナ侵攻による影響が大きく、住宅機器、建築資材等の輸入が厳しく、住宅着工にも大きく影響し、売上不振となり景況は悪い。(木材)
	印刷	<ul style="list-style-type: none"> ●印刷業界全体の売上が回復しない中、ロシアのウクライナ侵攻による世界情勢の不安定さから原材料費高騰に更に拍車をかけ利益を圧迫している。(印刷)
	窯業・土石製品	<ul style="list-style-type: none"> ●材料費の高騰に伴い、例年4月に行っている価格改定の10月の実施が近々の課題としてある。(生コン) ●材料や工具類等の経費が上がっているが、製品価格に反映できず、利益を圧迫している状況が続いている。受注数は、微増しているが、業況回復には繋がっていない。(石材加工)
	鉄鋼・金属製品	<ul style="list-style-type: none"> ●原材料の値上がり、販売価格に十分反映されない。(鋳物) ●原材料、副資材の異常とも思える高騰と、電気・電子部品の大幅納期(入荷)の遅れが、各社の経営に影響を及ぼしている。コロナ禍が収束していない事に加え、上記事象、円安が複合的に絡み合い先が見通せない現状である。(鍍金) ●県内建築鉄骨需要は若干上向き傾向感が出ているが、依然として鋼材・副資材・錆止め塗料などの高騰が続いているが、受注単価に転嫁されないケースが多い。更に初夏頃からボルト需要のひっ迫が予想され、今後も厳しい状況が続くと思われる。(建設用金属)
	輸送用機器	<ul style="list-style-type: none"> ●親会社の工事は確保されており、業況は安定している。(造船)
その他	<ul style="list-style-type: none"> ●各組合員、昨年よりは注文状況は良いと感じる。なお、雇用調整助成金が9月末まで延長されたのは大変助かる。(団扇) ●5月恒例の家具とぬりもの展示会は組合員の減少により、出展者が少なく予算の都合で例年4日間の開催を3日間に短縮して小売と見本市を併催で開催したが、来場者は業者、一般共にかなり少なく今後の開催に課題が残った。(漆器) ●5月の景況は前年と比べてほぼ同じになった。月の初めから売上が上昇していたが、月の半ばから減少してきた。同業者も天気が良く気温が上がってくると売上が上昇するが、気温が低いと売上が下がる。これから梅雨に入ると売上に響くので心配である。(綿寝具) 	
非製造業	卸売業	<ul style="list-style-type: none"> ●野菜・果樹の消費の減少と価格が低迷している。(農薬)
	小売業	<ul style="list-style-type: none"> ●規制なしのゴールデンウィークで人の動きもよくなっているが、値上げラッシュで購買の方は少し伸び悩みの様で、インバウンドの経済効果を期待する。(青果物) ●原油価格の高騰の影響もあり、節約志向から、対前年比5%減。県外安売業者の進出もあり、廃業する組合員が増加している。(石油) ●LPガス相場は、原油価格に釣られて高水準で推移している。しかし、今後は気温の上昇とともに徐々に極東の需要が減退し、米国からの順調な輸出が継続する場合は需要バランスが緩和される可能性がある。(エルピーガス) ●5月26日に3年ぶりの対面による総会が出来たが出席は4割弱であった。モノ不足、入荷遅れ、価格・物価高騰、電気代・ガス代値上げなどが影響して「売上が好調である」という言葉は使いようがない。マスコミ記事でインバウンド復活とのこと、多少期待をしているが、いずれにしてもコロナが終息しないことにはすべての事柄が上手くいかない。(電機)
	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ●オミクロン株による感染拡大は今年の1月以降、過去にないペースで広がりを見せ、数ヶ月に亘り猛威を振るったが、ここにきて感染者数が減少に転じ、第7波の流行も考えにくいことから収束に向かうと思われる。政府もマスク着用等の感染防止対策の緩和やインバウンド客の入国枠拡大等の経済活性化策に力を入れ始めており、リベンジ消費に期待が高まっている。昨年は4~5月に感染が拡大し、行動自粛の流れに対し、本年は感染者数高止まりの中にあっても重症化しにくかったり政府の行動制限緩和に方針を受けGW前あたりから人流も増え、消費も上向いている。5月は通行量も2割、売上平均も2割以上のアップとなった。前年の数字が悪かったため、大きな伸びとなったがリベンジ消費と言えるほどの勢いはまだない。やはり、日々の感染者数が減少し、高齢者層も安心して外出できるようになると本格的な消費回復に向かうと思われる。一方でウクライナ情勢等の地政学的リスクに起因し、国内物価の上昇が今後は消費の大きなブレーキとなる可能性もあり、予断を許さない。高額品需要は続いているがここに来て購入後の中古価格が高値となっているものは依然として堅調であるが、そうでないものは陰りが出てきている。ただ、中低価格帯の商品にも良い動きは出ているので、消費全体としては悪くはない。(高松市①)

5月の県内景況は、前年同月と比べて売上高DI値は-12.5ポイントで前月調査の-18.8ポイントから6.3ポイント、収益DI値は-29.2ポイントで前月調査の-35.4ポイントから6.2ポイント改善した。しかし、景況DI値は-33.3ポイントで前月調査の-31.1ポイントから2.2ポイントの悪化となった。

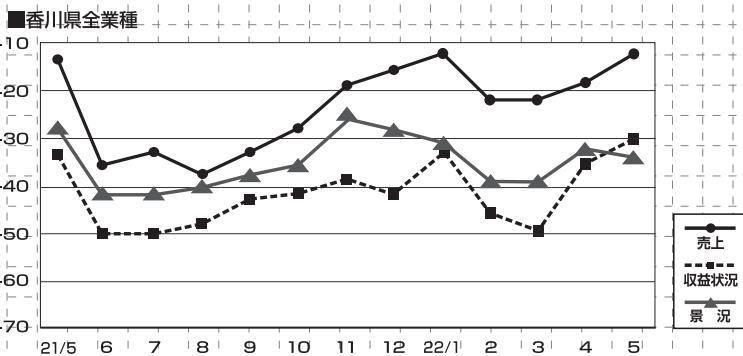
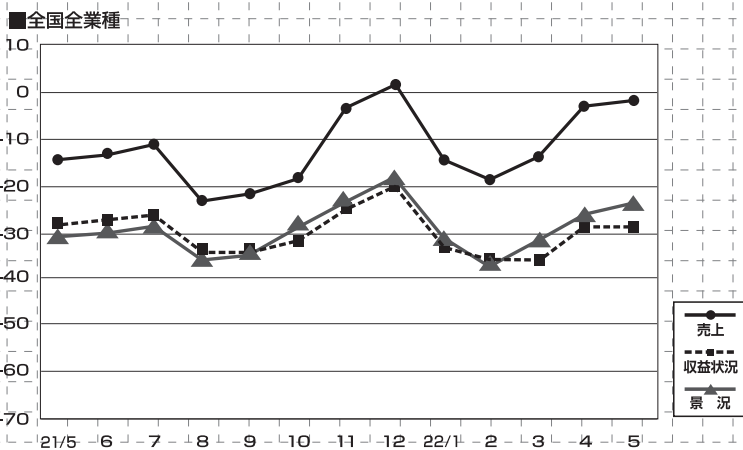
3年ぶりに行動制限のないゴールデンウィークを迎え、改善基調にあるも先行き不安感拭えず。

非製造業	商店街	<ul style="list-style-type: none"> ●5月に入って人流動向が入れ替わっているようにトラベルバッグを運ぶ人たちが増え、同時に人の流れがわずかながら減少した。コロナ感染者数が増えた中旬には瀬戸内国際芸術祭春会期を感じない人の流れであった。ただ、金曜日、土曜日の夕方からは若い人たち・子供連れの家族が賑やかに来街している。おもちゃ美術館がオープンした影響も考えられる。下旬になると政府の方でマスクを含める経済関連の話が出るようになるタイミングで地元ビジネスマンの方々も増えてきたが、子供連れが少し減っているように思われる。業界の悪化は送料はじめ全てに関しての値上がり原因と思う。(高松市②) ●コロナによる、人出・売上の減少が続き、戻りそうにない。原材料の値上げ分の販売価格への転嫁はできない。(坂出市) ●モノの価格上昇が続き、生活者の「必要なもの以外は買わない」という姿勢が、いっそう強くなっていると感じる。光熱費の上昇が激しく、各店の収益を圧迫している。飲食関係は、原材料価格の上昇も深刻な様子である。コロナへの警戒心は確実に減っているが、次の課題が発生している。(丸亀市) ●5月の連休は確かに人の往来は増加した模様である。私方も含めて、都会に出ていた若者の帰省者が多く見受けられ、それもあって県外ナンバーの車が増えた。その点は街中で変化が見られた。今後もその流れで、誰が何かを仕掛けるわけではなく、なんとなく人流は戻る事になると思うが、この2年半の間の生活や仕事環境の大きな変化は止められず、何となく街全体が回ってゆく社会には戻らないと思う。棄てられない刷新できない店が多いのが現実である。(観音寺市)
	サービス業	<ul style="list-style-type: none"> ●4月に比べると多少売上は増加している。材料価格の上昇が続いており、収益に影響が出始めており、収益を圧迫し始めている。(ディスプレイ) ●ガソリンの高騰や円安の関係で、その他先々の方向性が不透明である。(情報) ●国家戦略特区の外国人美容師育成事業で、東京都が認可になり、今秋スタートする事から、この度、外国人美容師育成事業制度概要が発表になった。(美容)
	建設業	<ul style="list-style-type: none"> ●当組合でも、インボイス制度の登録を済ませた。組合員においては、すでに登録済み、今後登録予定等、様々である。建設業において懸念される問題として、下請事業者が免税事業者である場合には、元請事業者が消費税を控除できなくなる為、適格請求書等発行事業者になる事を選択させ、さもなくば取引をしないといった対応をとる事業者も危惧される。特に一人親方などは大きな転換期といえる。(総合建設) ●材料の価格高騰が止まらず、契約に難航している。(板金工事)
	運輸業	<ul style="list-style-type: none"> ●新型コロナウイルス感染症拡大により、営業収入、輸送人員ともに減少しており、非常に厳しい経営状況が続いている。5月は対前年比で営業収入150%、輸送人員141.3%となっているが、令和元年比は営業収入69.7%、輸送人員64.1%と回復の兆しが見えない状況にある。(タクシー) ●令和4年4月分高速道路通行料利用額の対前年同月比は、1.3%増となり、対前月比では△5.6%減となった。また、4月分利用車両数の対前年同月比は、△1.1%減となった。(トラック) ●国土交通省5月31日発表のトラック輸送情報(2022年3月分)によると、四国における一般貨物の状況は対前月比111.3%、対前年同月比102.7%であった。品目別では、「鉄鋼」及び「食料工業品」の輸送量が増加したと回答する事業者があった。一方、建設関連の需要減により「砂利・砂・石材」の輸送量が減少したと回答する事業者があった。今後の輸送見通しについては、次月以降も減少傾向が予想される。(貨物)

香川県内の業種別DI値の変化 (対前年同月比)

	売上高	収益状況	業界の景況	
製造業	食料品	☀️☁️	☁️	☁️
	繊維・同製品	☁️	☁️	☁️
	木材・木製品	☁️	☁️	☁️
	印刷	☁️	☁️	☁️
	窯業・土石製品	☀️☁️	☀️☁️	☀️☁️
	鉄鋼・金属製品	☁️	☁️	☁️
	輸送用機器	☁️	☁️	☁️
	その他	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☁️	☁️	☁️
	小売業	☁️	☁️	☁️
	商店街	☁️	☁️	☁️
	サービス業	☁️	☁️	☁️
	建設業	☁️	☁️	☁️
	運輸業	☀️☁️	☁️	☁️
その他	☁️	☁️	☁️	

DI値の推移 (対前年同月比)



※集計結果の詳細は、本会ホームページ上でご覧になれます。
<http://www.chuokai-kagawa.or.jp/>

商工中金だより

新型コロナウイルス感染症特別貸付のご案内

○中小企業向け制度

対象者	新型コロナウイルス感染症の影響を受け一般的な業況悪化を来し、次の①又は②のいずれかに該当し、かつ、中長期的に業況が回復し発展することが見込まれる方 ①最近1カ月の売上高又は過去6カ月(最近1カ月を含む)の平均売上高が、前4年のいずれかの年の同期比5%以上減少している方 ②業歴が3カ月以上1年1カ月未満の場合や、店舗増加や合併、業種転換等により前4年のいずれかの同期と単純に比較できない場合等で、直近1カ月の売上高又は過去6カ月(最近1カ月を含む)の平均売上高(業歴6カ月未満の場合は、開業から最近1カ月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 a.過去3カ月(直近1カ月を含む)の平均売上高 b.令和元年12月の売上高 c.令和元年10～12月の平均売上高
資金用途	設備資金 運転資金
適用利率	商工中金所定の利率
利子補給(※1)	下記に記載の通り
貸出期間	設備：20年以内(据置5年以内) 運転：15年以内(据置5年以内)
貸出限度(※2)	元高：20億円以内 残高：6億円以内

(※1)利子補給の残高限度は、日本政策投資銀行等との合算運用となります。

(※2)元高とは貸出額の累計です。貸出限度額は日本政策投資銀行等との合算運用となります。

[利子補給制度について]

- ①残高3億円まで、当初3年間、0.9%を利子補給
- ②残高6億円まで、お借入期間中、商工中金所定の利率が日本政策金融公庫の基準を上回る場合にその差分を利子補給
- ③特別利子補給制度(注)

[特別利子補給制度について]

別途「特別利子補給制度」により、一定の要件を満たす方は、元高3億円のお借入残高に対して、当初3年間は金利0%となるまでの利子補給を受けることができます。

※一定の要件：売上減少が中小企業▲20%以上、小規模事業者▲15%以上等

※利子補給金の請求に関する具体的な手続き、要件に関する事項、利子補給金をお客様にお返しする方法等の詳細については、中小企業基盤整備機構ホームページをご覧ください。

なお、詳細につきましては、商工中金高松支店までお問い合わせください。

【お問い合わせ先】

株式会社商工組合中央金庫
高松支店

〒760-0052 高松市瓦町 1-3-8

TEL.087-821-6145

FAX.087-851-6074

日本政策金融公庫だより

新型コロナウイルス感染症の影響により、一時的に業況悪化を来しているみなさまを対象とした「新型コロナウイルス感染症特別貸付」を取り扱っております。くわしくは、支店の窓口までお問い合わせください。

○新型コロナウイルス感染症特別貸付の概要

ご利用いただける方	新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一時的な業況悪化を来している方であって、次の1または2のいずれかに該当し、かつ中長期的に業況が回復し、発展することが見込まれる方 1.最近1カ月間の売上高または過去6カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高が前4年のいずれかの年の同期と比較して5%以上減少している方 2.業歴3カ月以上1年1カ月未満の場合等は、最近1カ月間の売上高または過去6カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高(業歴6カ月未満の場合は、開業から最近1カ月までの平均売上高)が次のいずれかと比較して5%以上減少している方 (1)過去3カ月(最近1カ月を含みます。)の平均売上高 (2)令和元年12月の売上高 (3)令和元年10月から12月の平均売上高		
お使いみち	新型コロナウイルス感染症の影響に伴う社会的要因等により必要とする設備資金および運転資金		
融資限度額 (いずれも別枠)	国民生活事業	8,000万円	
	中小企業事業	6億円	
ご返済期間 (うち据置期間)	設備資金20年以内(うち据置期間5年以内) 運転資金20年以内(うち据置期間5年以内)		
利率(年) (注1)	国民生活事業	6,000万円以内の部分(注2)	融資後3年目まで：基準利率-0.9% 4年目以降：基準利率
		6,000万円を超える部分	基準利率
	中小企業事業	3億円以内の部分(注2)	融資後3年目まで：基準利率-0.9% 4年目以降：基準利率
		3億円を超える部分	基準利率
担保	無担保		

(注1)基準利率は、災害発生時の融資制度に適用される利率(融資期間に応じた所定の利率)が適用されます。主な貸付利率は日本公庫HPをご覧ください。
(注2)一部の対象者については、基準利率-0.9%の部分に対して中小企業基盤整備機構から利子補給を受けることにより、当初3年間は実質無利子となります。

〈支店窓口〉株式会社 日本政策金融公庫 高松支店

URL : <http://www.jfc.go.jp>

〒760-0023 高松市寿町 2-2-7 いちご高松ビル 2・3階

国民生活事業(2階) Tel.0570-085-298 Fax.087-822-9274

中小企業事業(3階) Tel.087-851-9141 Fax.087-822-1423

農林水産事業(3階) Tel.087-851-2880 Fax.087-822-7350